

サク ラ サク

烏賊松





な…な…
なんだよ…
姉ちゃんよ!!

勝手に入って
くんなよ!!



な…



やっぱり
あんただった
のね!!

ドス
ドス
ドス

ドス
ドス
ドス



これ
あたしのペン
でじゃ!!

こまがうらま
刺さるわ!!



「……」これは
あの……



……



前からなんか
おかしいと
思っていたのよね



大体あんた
もうすぐ
高校受験
なんでしょ!!

頭悪いんせに
勉強もしないで
受かると
思っている……



引も付いたが
下着が濡れ
ていた……

ここの服は
濡っていた……

そんな事ほっかり
さっさとあきら
め直さないと
馬鹿になるのよー



悔しかったが
第一試験の落校は
合格じゃ
おなれこー



わかったよ
.....

受かれば
いいんだろ



もし合格したら
どうする??



とっ...とっ...



まああんたみたいな
馬鹿が受かるわけ
ないと思うけど

いいわ
もし合格できたら
あんたに私の下着
自由に使わせて
あげるわよ



なんなら
私の裸も全部
見せてあげる



よ...よーし
約束したからな

絶対合格して
やるからな!!
逃げんじや
ねーぞ!!

高校受験の
三ヶ月前

俺は
姉貴の下着で
オナツてる現場を
見られてしまった



姉貴にバカにされて
ブチ切れた俺は

姉貴を見返すために
その日から生活態度を
改めて必死で勉強した

もちろん
サルのように
毎日していた
オナニーも
封印して



コケの一念
岩をも通す

ありえない
勢いで勉強
しまくった

三ヶ月後



俺は
見事に
合格した

姉貴の下着だとか
裸だとか
そんな事は一切
頭になく

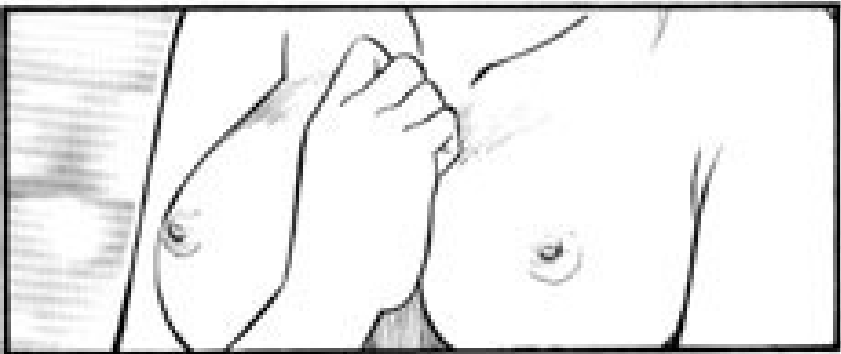
ただ姉貴の悔しがる顔を
見たい一心が俺を
本気にさせたのだ



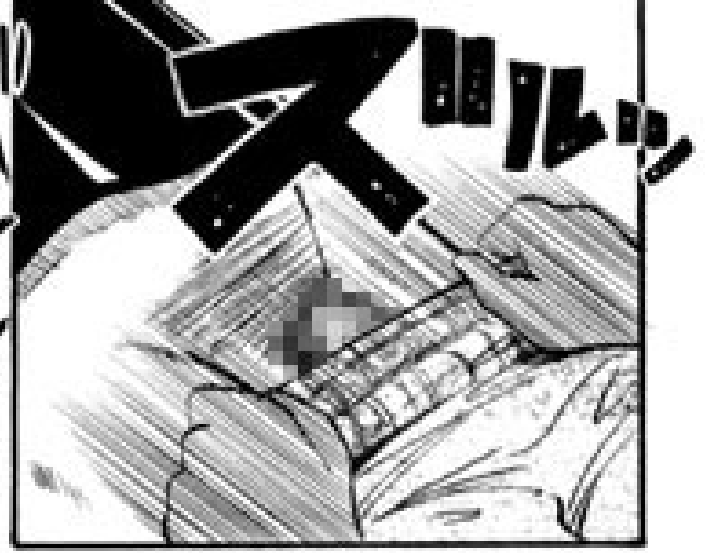
でも意外な事に
絶対悔しがる
思っていた姉貴は

まるで自分の事のように
俺の合格を
喜んでくれた









だ...だ...

だ...



も〜!!

なんで姉ちゃんが俺の裸を見るんだよ

これじゃ約束と反対じゃないか!!



ドキ

ドキ

ト...トモ

ドキ

す...す...す...



ちやんと
足開げて
くんないと

見えない
だろ!!

きゅん



ああん
やだ

恥ずかしいから
あまり見ない
でよ



す...

すげえ

これが
おま...〇



ビデオだと

みんなココ
舐めてる
よな...

ちゅ



ビデオの
モザイクが
隠してたのは

これか
!!

ヒラ



なんたる
これ...

今まで
かいだ事のない
不思議な
二オイがする



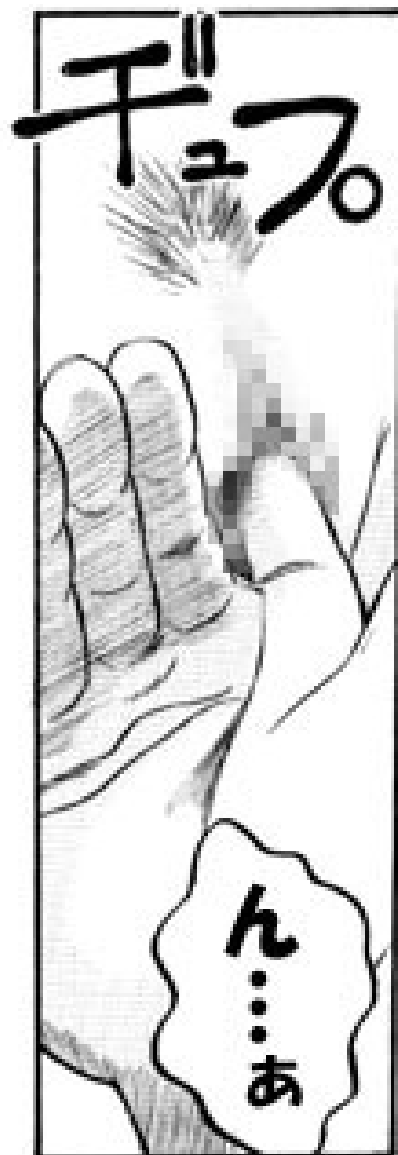
はあ…ん



ちゅ

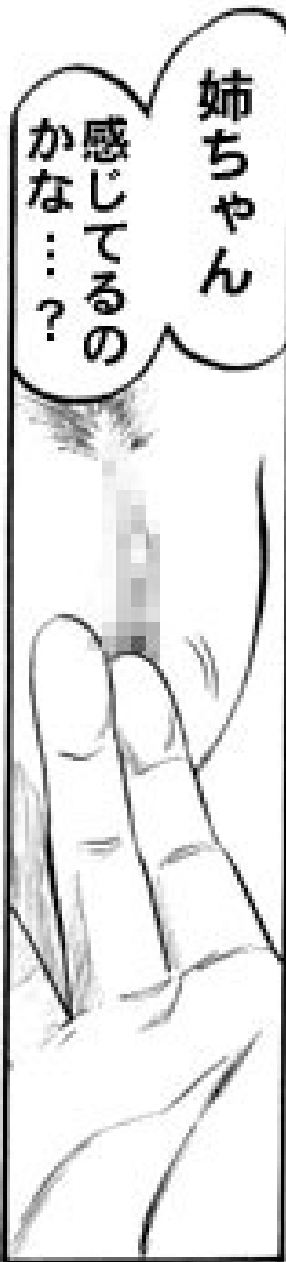
うわ…

めっちゃんバネバ
したのが
出てきた…



チュフ。

ん…あ



姉ちゃん

感じてるの
かな…??



あ…
熱っ…

おま○この
中って
こんなに
熱いんだ…



上の方が
ザラザラ
してる…

ザラ

ザラ



ハッ

ハア

ハア



コウッ

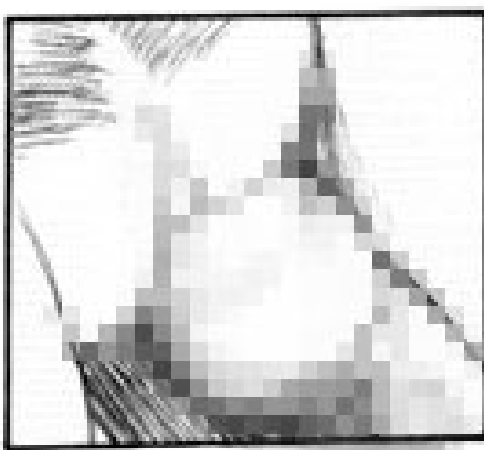


ねえ
……

入れても
いい？

俺はもちろん
姉貴もSEXの
経験はなかった
ようだ

でも先っぽが
やっと入っただけで
それ以上はなかなか
入らない

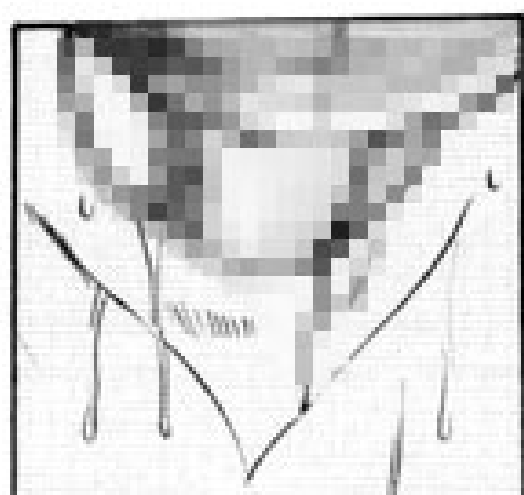


一度抜いて
思いっきり差し込むと



俺はそれまでに見た
色んなAVを思い出して
ち○ち○を押し込んだ

なんとか根元まで
挿入する事が
できた



でも今度は
ギョウギョウに
締め付けられて

抜く事も
動く事も
できなくなった



そして
なんとかしようと
もがいていたら

……と言っ間もなへ



俺は姉貴の胎内で
イッてしまった



あ……
ヤバ……

で……

出る……

俺「ちなま
いっばいの
初体験だったが



あの日から
1年――



週2〜3回のペースで
続いていた
俺たちの関係も
もうすぐ終わる

姉ちゃん
待っていてくれよ

俺にとっては
実に忘れがたい
姉貴からの
合格祝いになった

春から姉貴が
家を出て東京の
大学へ行くからだ



俺も絶対
東京の大学に
合格するから

